

H30年度 就労ワーキング振り返り・評価シート

H31年1月21日作成

1 今年度の活動について

【今年度の方針】

セルフチェックシートをバージョンアップし、就労移行支援事業所等の職員の資質向上を目指す。

【今年度の取り組み内容】

開催回数	4回	開催月	7月、8月、11月、1月
------	----	-----	--------------

具体的活動内容

・セルフチェックシート(まずはここからガイドライン試行版)について、前年度配布してアンケート調査を行っているため、その結果を踏まえ、よりわかりやすく、より職員の資質向上のために活用してもらえるようなものにバージョンアップした(アンケート結果を踏まえて修正したものは、ワーキングメンバーが所属する就労支援事業所にて試行してもらい、再修正を行った)。

【今年度の取り組み結果】

(今年度の活動からどのような結果となったのかを記載)

・まずはここからガイドライン第一版が完成し、中越圏域就労移行支援事業所連絡調整会議にて配布した。(今年度中に、長岡市内の、全ての就労移行支援事業所及び、就労継続支援A型・B型事業所に配布予定)

【取り組みの成果】 ※モニタリングを実施した場合のみ

(取り組みの結果が「どのように地域へ還元できたのか」をモニタリングから確認した内容の記載)

2 今年度の振り返り及び評価について

【今年度、協議会活動を通じての振り返り(メンバーの感想・意見)】

メンバーが協議会での活動を通じて感じたことや気づき、今年度部会・ワーキングの取り組みに関すること、長岡市協議会の運営や体制に関する課題・意見等

- ・昨年度から継続でのワーキングであったが、メンバーとして参加するのが今年度からであったので最初は入り込めなかった。昨年度の具体的な取り組みの把握が難しかった。年度を越えてのワーキングはメンバーが変わったりするのでモチベーションを保つことが難しい。
- ・ワーキングメンバーの各事業所の状況等知れて勉強になった。
- ・ガイドラインの活用についてはこれからの課題。
- ・圏域会議との連携ができなかった。(ガイドラインを配布したのみ)
- ・移行支援事業所の現状を把握した上でガイドライン作成できた。
- ・バージョンアップし、第一版ができてよかった。自分自身のセルフチェックの意識付けや人材育成について考えるきっかけになった。
- ・部会とワーキングの連動がなかった。
- ・普段関わりのない事業所にワーキングに来てもらえるとうい。
- ・議事録をメールでもらえ、事業所内で報告ができて助かる。
- ・配布方法を検討し、他会議を活用できた。
- ・ガイドラインを昨年度のアンケートを踏まえて検討し、ワーキングメンバー事業所にて試行できた。
- ・事業所によってバラつきがある。対象者の絞り込み。今後の情報発信や活用方法について不足していた。
- ・ガイドラインが支援者に活用されることで当事者へ還元される。(ガイドラインにも明記した)

【協議会の機能について】

今年度の活動の中で(活動の振り返りから)、どのような協議会の機能があったかを確認する。

※協議会の機能詳細については別紙を参考。

	確認した機能の内容 (どのような部分が機能であったか、なかった場合はなぜなかったか等)
情報機能	・各事業所の実状を理解した上でガイドライン作成ができた。
調整機能	・ガイドラインの配布方法を検討し、他会議を活用し配布することができた。
開発機能	・ガイドライン第一版が完成し、配布することができた。 ・事業所内での人材育成について考えるきっかけになった。
教育機能	・ワーキングメンバーの各事業所の状況等が知れたこと。 ・ガイドライン作成の工程が勉強になった。 ・ガイドライン試行により、職員への意識向上につながった。
権利擁護機能	・ガイドラインが支援者に活用されることにより、当事者へ還元される。
評価機能	・昨年度のアンケート結果を踏まえてガイドラインの内容を検討し、ワーキングメンバーの2事業所にて試行できた。

【今年度の振り返り・協議会の機能から確認できた成果】

※モニタリングによる成果(地域へ還元できたかどうかの成果)とは異なることに留意

- ・視野が広がった。事業所内では得られない情報を得られる場であった。
- ・ワーキングメンバーが協力的であった。一人が頑張るのではなく、皆で頑張ることで大きな力を発揮できた。
- ・ガイドライン第一版が完成し、配布することができた。

3 来年度の取り組みについて

来年度の継続	継続 <input type="radio"/> 終了 <input checked="" type="radio"/>
継続・終了の理由	<ul style="list-style-type: none">・企業が就労支援事業所を見学することについては、各事業所で実施できるようになってきた(ハローワークで実施する合同面接会等をきっかけに、企業との接点が増えた)。・セルフチェックシートを就労支援事業所に配布し、活用してもらうこととした。

※部会を一旦終了とする場合については、運営会議にて協議の判断材料とできるようその理由を明確に記載すること。

今年度の取り組みに対する モニタリングの実施	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	モニタリング実施時期	年 月
---------------------------	--	------------	-----

※ワーキングのみ記載

【振り返り・評価内容を受けて、来年度改善を行うこと】

※来年度継続の場合

会議内容や方法に取り入れることなど、具体的に記載する。

【来年度の方向性・具体的取り組み内容や引継ぎ事項等】

※来年度継続の場合